



令和4年度

学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ～学ぶ喜びにあふれた学校をめざして～

令和5年1月10日

横浜市立高田小学校

1月号

未来を夢見て

校長 赤坂 桂

新年あけましておめでとうございます。学校では行動制限が少しずつ解け、様々な活動に取り組めるようになってきました。感染症対策は続けますが、今年はさらに新たなことに挑戦できそうです。うさぎ年にふさわしく、勢いよく飛躍する一年となることでしょう。

さて、昨年12月はサッカーワールドカップで大いに盛り上がりました。日本代表は大方の予想を覆してドイツやスペインに勝利し、1位で予選リーグを突破しました。この快挙はサッカーに詳しい人ほど、願ってはいっても実現は難しいことと驚き、喜んだのではないのでしょうか。

私も「にわかサポーター」ではありますが、代表の活躍に胸が躍りました。思えばドーハの悲劇と呼ばれる1993年のアジア地区予選でイラク代表に引き分けた試合もTVの前で応援していました。あれから30年近くが経過しています。当時ワールドカップは出場することが目標で、Jリーグは発足したばかりでした。プロ野球が人気スポーツでしたので、それほど人気はなかったサッカーがプロ化で成功するのか周りの反応も冷ややかだったと記憶しています。そんななか、語られていたのは「Jリーグ百年構想」でした。サッカーのステイタスを高め、普及を通して地域に根ざしたスポーツクラブをつくることや町に緑の芝生に覆われた広場や施設をつくること、「観る」「する」「参加する」世代を超えた輪を広げることなどが掲げられていました。当時、プロは大都市中心で、一般的な運動場は土のグラウンドが当たり前でしたので、そうならいいな、程度の未来予想であり、私は「百年は大げさだな」と感じていました。しかし、今、30年の時を経て世の中が変わってきていることを実感します。かつてプロもなかった日本ですが、現在、代表の選手はほとんどが海外で活躍しています。当時は想像していなかった状況です。サッカーに携わる人たちが百年構想の実現に向けて努力を続けてきた結果だと思えます。きっと日本代表がワールドカップで優勝し、全国の芝生広場で多くの人がスポーツを楽しむ日もいつかやってくることでしょう。

学校教育はどうでしょうか。高田小学校の教育目標は「伸びよう 豊かに たくましく」です。進んで学ぶ子、友達を思いやれる子、自他の命を大切にし、健康でたくましい体をつくる子、社会に役立つために行動できる子、等の育成を目指しています。どれも大切な目標です。高田小学校に通うすべての子がこんな子に育つことを理想に日々の学校教育活動を行っています。この学校で学んだことを糧に、子供たちが社会で活躍する未来を夢見、今年も精いっぱい取り組んでいきます。ご協力のほど、よろしくお願いたします。